

風しん患者、昨年の10倍に 予防接種助成は

△ 大野城市議会議員

50歳代の男性が流行の中心となつています。大流行がまた発生するのではないかと危惧したことから今回麻しん・風しんについて質問を

※年代別風しん接種状況

生年月日など	定期接種の状況
昭和37年4月1日以前	接種なし
昭和37年4月2日～昭和54年4月1日	男性：接種なし
昭和37年4月2日～昭和54年4月1日	女性：1回接種あり（中学生の時に学校で集団接種）
昭和54年4月2日～昭和62年10月1日	1回接種あり（中学生の時に医療機関で個別接種）・幼児期にMMR（※1）ワクチン接種の場合あり
昭和62年10月2日～平成2年4月1日	1回接種あり（幼児期に医療機関で個別接種）2回接種の場合あり
平成2年4月2日以降	（MRワクチン（※2）の2回目を医療機関で個別接種）

風しんは首都圏を中心に7月末から流行しています。国立感染症研究所は10月10日、今年の累計患者数が952人になつたと発表しました。累計患者数は昨年1年間の10倍を超えていました。免疫のない人が多い30歳

全国における平成25年の風しん患者の報告数は1万4357人と過去6年間で最も多い報告数となりました。また、風しんに対し免疫を持たない妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、赤ちゃんに生まれつき心臓に病気がある、耳が聞こえにくい、目が見えにくいなどの障がい先天性風疹症候群が起こる可能性があります。福岡県は風しん抗体検査は20歳以上の妊娠を希望する女性や妊婦の配偶者に対して、風しん抗体検査を無料で実施していますが、抗体が低い結果がでます。視力は普通と変わらず、細かいものまで十分見えますが、一部の色の組み合わせについて一般色覚者と見え方が異なります。このため色の使い方や明度差などの配慮が必要になります。こうした多様な色覚を持つ様々な人に配慮して全ての人に情報が正確に伝わるように配慮されたデザインをカラーユニバーサルデザインと言います。本市におけるユニバーサルデザイ

成について提言しました。

福岡県風しん抗体検査事業無料で実施 抗体検査から予防接種につなげるためには

みゆき元気！
ママさん議員活動報告



第30号
2018年10月発行

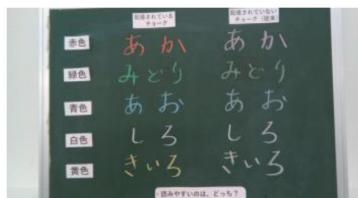
<松田みゆき事務所>
〒816-0983 大野城市
月の浦 5-11-15
TEL : 092-577-0884
FAX : 092-577-0884
メール : mm@matsudamiyuki.com

【裏面もあります！】

- 9月議会補正予算
- 市内ブロック塀等の現地調査
- 平成30年7月豪雨災害市内の避難状況・被害状況 他

厚生労働省は東京オリンピック・パラリンピックが開かれる2020年までに風しんを排除する目標を掲げています。

風しんの感染拡大を防ぐために独自の制度で従業員にワクチン接種費用を助成している会社も出てきています。



その他、市のユニバーサルデザインフォントの導入状況や学校現場での導入状況・今後の展開について質問し、導入する際のメリットや留意点を提言しました。



□ 9月議会補正予算

◆ブロック塀倒壊防止対策事業

補正予算額 3909万円

大阪府北部地震に伴うブロック塀

倒壊事故を受けて、倒壊事故を受けて、

公共施設を調査した

結果、建築基準法に

不適合の可能性がある

ブロック塀があつ

たことから、倒壊防止対策を図るための事業費を追加するも

の。



◆ハザードマップ更新事業

補正予算額 546万円

福岡県が洪水浸水想定区域図を公表したことにより、御笠川浸水想定

区域の見直しに伴うマップ作成方法

の変更が必要となり補正するもの。

◆災害リスクアセスメント再調査及

び地域防災計画修正事業

補正予算額 497万円

福岡県が洪水浸水想定区域図を公表したことにより、災害リスクアセ

スメントの再調査・地域防災計画の修正に必要な費用を追加するもの。

◆災害復旧事業

補正予算額 1135万円

平成30年7月豪雨により使用した備蓄品の補充や災害復旧等にかかる費用を追加するもの。

□市内ブロック塀等の現地調査

調査対象は市内全域（県による点検範囲を除く）の公道に面しているブロック

塀で、調査職員は被災建築物応急危険度

判定士等の資格を取得している職員と一

般職員の2名1組で調査しています。

調査期間は9月上旬から10月末です。

調査後の取り組みとして、調査結果をも

とに危険な状態であるブロック塀に対す

る応急対応や解消に向けた取り組みが検

討されます。

□「平成30年7月豪雨」災害 市内の避難状況・被害状況

避難世帯数 192世帯、避難者数 372名（市外からの避難者数10人）でした。

床上浸水	1件	がけ崩れ	2件
土砂流出	12件	水路溢水	6件
法面崩壊	8件	土砂堆積	2件
ため池土砂堆積	2件	倒木	1件
流木	1件	道路崩落	1件
舗装破損	1件	陥没	1件

座談会のお知らせ

日時 11月30日(金)

11時～

場所 南コミュニティセンター
(研修室2)

身近なことを話して
みませんか。

・将来世代に残る資産はどれくらいあるか？

市民1人当たりの資産額	114万6千円
-------------	---------

市民1人当たりの負債	25万6千円
------------	--------

・現役世代と将来世代の負担は？

純資産比率	77.6%
-------	-------

・行政サービスは効率的に提供されているか？

市民1人当たり行政コスト	24万9千円
--------------	--------

□平成29年度決算認定

9月議会では、昨年度の決算審査が行われました。市議会はこれを適切な執行がされているとして、決算を認定しました。

2011年大野城市議会議員 初当選

福祉文教委員会(～2013年)

住居表示審議会(～2013年)

2013年都市環境委員会(2015年)

広報委員会(～2015年)

2015年大野城市議会議員2期目当選

総務企画委員会副委員長

決算特別委員長

2017年福祉文教委員会委員長
議会運営委員会副委員長

広報委員会委員

土地開発公社理事

国民民主党青年委員会

国民民主党男女共同参画委員会

月の浦小学校読み聞かせボランティア

~松田みゆきプロフィール~

1976年5月30日春日市生まれ

春日西幼稚園卒園

春日西小学校卒業

春日西中学校卒業

福岡県立春日高等学校卒業

(15期生 現在 同窓会副会長)

中村学園短期大学食物栄養科卒業(40期生幹事)



2011年大野城市議会議員 初当選
福祉文教委員会(～2013年)
住居表示審議会(～2013年)
2013年都市環境委員会(2015年)
広報委員会(～2015年)
2015年大野城市議会議員2期目当選
総務企画委員会副委員長
決算特別委員長